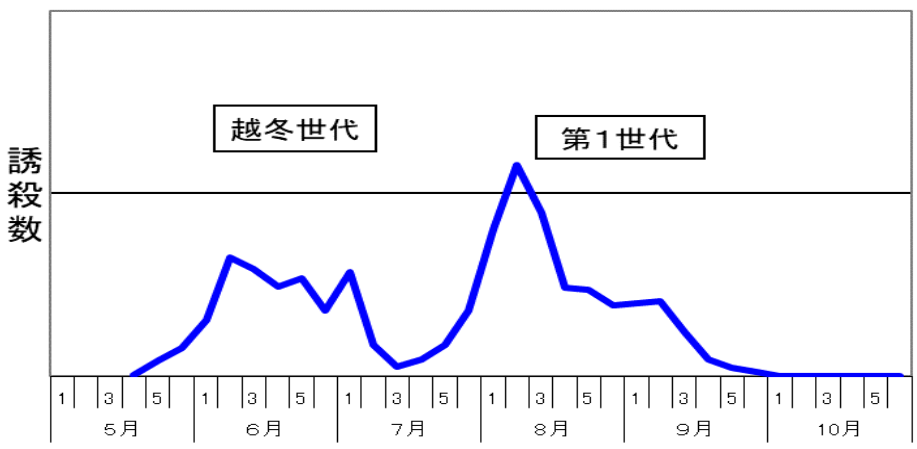
モモシンクイガのフェロモントラップ誘殺消長（令和７年（2025 年）調査）

病害虫防除部

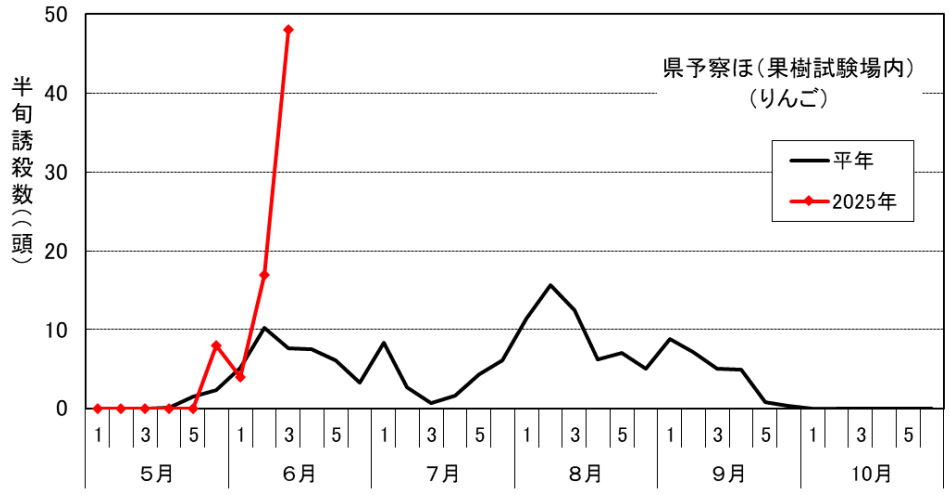
過去 10 年間の消長模式図（果樹試験場内　試験場予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

・標高 600m以下の平地では年２回が大半である。
・準高冷地及び日照の少ない山沿いでは年２回発生が主体で、１回発生が混在する。
・越冬世代成虫は６月上旬から始まり、７月に入ると盛んになり、８月上旬まで続く。産卵は７月になると急増し、産卵最盛期は７月中下旬で、大半はがくあ部に産みつけられる。
・第１世代成虫は８月上旬から発生し、発生最盛期は８月中～下旬である。産卵最盛期は、成虫の発生期とあまり変わらない。
・防除はふ化幼虫の食入防止を中心とする。６月下旬から概ね２週間間隔で９月上旬まで防除する。特に７月中下旬と８月中下旬は重要な防除適期である。

○県予察ほ（須坂市　果樹試験場）



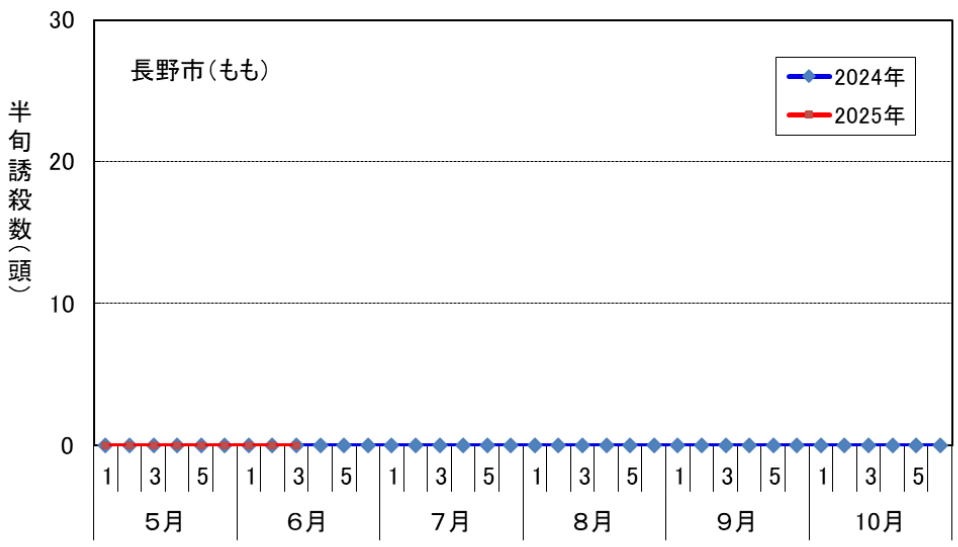
【調査地点】（標高約 350m）

・須坂市　長野県果樹試験場（りんごほ場）
・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

・５月下旬から誘殺が増え始めた。
・６月第２、第３半旬で誘殺頭数が急増した。

○長野市・須坂市（病害虫防除部）

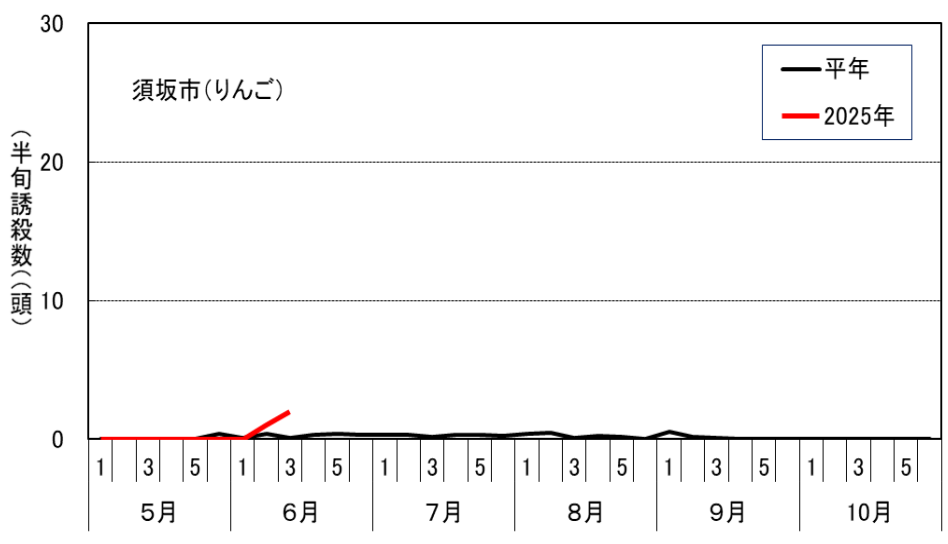


【調査地点】（標高約 370m）

・長野市（ももほ場）
・2024 年からほ場変更したため、平年値なし。

【コメント】

・６月第３半旬時点でも誘殺は観測されていない。



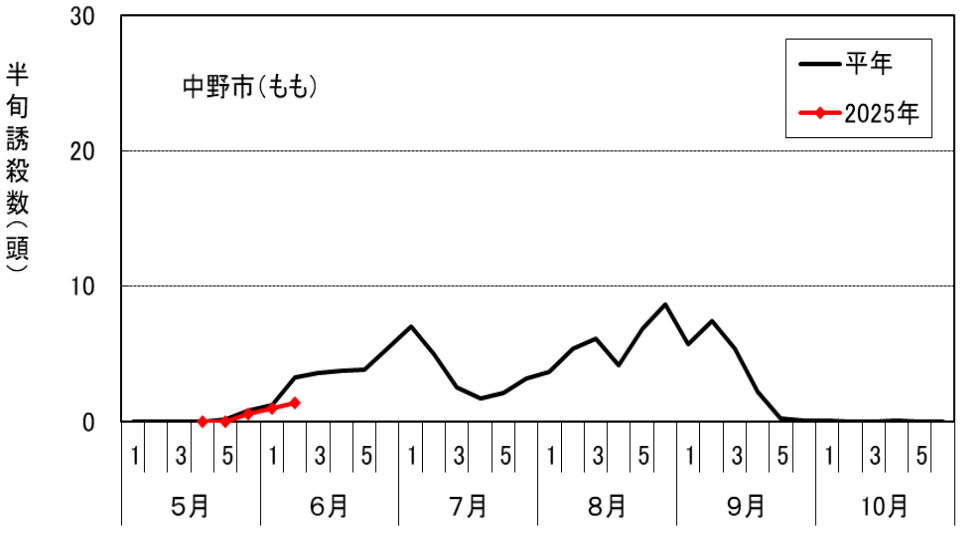
【調査地点】（標高約 370m）

・須坂市（りんごほ場）
・平年は 2015 年～2024 年の平均値

【コメント】

・５月中の誘殺は観測されなかった。
・６月に入り、少ないながらも誘殺が続いている。

○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 370m）

・中野市（ももほ場）
・2025 年は５月中旬に設置

【コメント】

・中野市設置のトラップでも６月に入り、数は少ないが誘殺がみられる。